

今、熊本かがやきの森支援学校では・・・(プール緊急時対応研修について その4)

子どもたちが楽しみにしているプールを使った学習が、本校は6月19日から、分教室は6月26日から始まります。学習を始めるにあたり、プールを掃除したり、水を溜めて適正に施設を使用、水質管理をするための「プール施設管理研修会」を開催したりしています。また、安全・安心を担保する取り組みとして、一般的な心肺蘇生法の研修会やプール緊急時対応研修会も実施しています。今回は、5月22日に実施した「プール緊急時対応研修会」についてご紹介したいと思います。

この研修会の講師を、熊本大学病院 小児在宅医療支援センター 熊本県医療的ケア児支援センター 副センター長の小篠 史郎 医師 務めていただきました。また、他同センターの 社会福祉士、理学療法士、看護師の皆様にもサポートいただき、大変有意義な研修会とすることができました。研修会では、実際のプールでの活動を想定し、医療的ケアを必要とする子ども等が水没した場合の対応(蘇生)の仕方についてシミュレーションを行っていきました。ほほえみスクールライフ支援事業の看護師、養護教諭、支援していた教員等で手技を分担(アンビューのバギング、吸引、姿勢保持、肺からの排水を促す介助)し、学部ごとに代表者がシミュレーションをしていきました。「慌てるな」というのは難しい場面ですが、それぞれの職員が自分の役割を真剣に且つ冷静に担って臨んでおり、校長として、とても頼もしく感じました。緊張感漂う中でしたが、「『このようなシミュレーションを経験したのだ』ということが、自信となって、実際に起こった場合にも落ち着いて対応したい。」と感想が発表されました。

お忙しい中においでいただきました小篠先生他スタッフの皆様、本当にありがとうございました。今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

令和5年5月26日

熊本かがやきの森支援学校長

富永 佐世子

